

平成 28 年度 事業計画書



社会福祉法人 生活・文化研究所

法人本部

共同生活ホーム 移山寮

就労継続支援B型事業所 移山寮

相談支援事業所 移山寮

目 次

I.	法人の経営理念、基本方針	1
II.	基本目標（ビジョン）・重点項目・基本施策	2
III.	今年度の重点活動方針	2
IV.	本部計画	3
V.	事業所計画	5

組織図	17
実施事業	18
役員・評議員	18
職員	19
倫理綱領	20
職員行動指針	21
法人内委員会、苦情解決体制、虐待防止管理体制、 業務管理体制、安全衛生推進	22
防火管理	23
研修計画	24

I. 法人の経営理念、基本方針

本法人では、「多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援すること」を使命と定めています。

「地域に根差し、地域に開かれた事業所運営」を基本に、人と人とのつながりを大切に、「生命の尊さ」「勤労の喜び」「感謝の気持ち」を忘れることなく、「地域から愛される」事業所づくりを目指します。利用者のライフワークに応じた様々な支援ができるよう努めるべく、次の経営理念、基本方針を掲げます。

経営理念

利用者一人ひとりが望むその人らしい生活を営むことを支え
透明かつ健全で活力ある開かれた運営に努め
地域に貢献できる法人をめざします

基本方針

1. 私たちは、利用者の人権及び自己選択・自己決定を尊重した福祉サービスの実現をめざします
2. 私たちは、笑顔あふれる人間関係を構築し、職員一人ひとりが働きやすい職場づくりをめざします
3. 私たちは、福祉サービスの質の向上のために研修を計画的に行い専門的知識・技術の習得に努めます
4. 私たちは、各関係機関と連携し、地域のニーズをくみとり地域福祉増進のために積極的に対応していきます
5. 私たちは、健全な法人経営を行うため透明性を確保し情報公開やネットワーク機能の向上に努めます

II. 基本目標（ビジョン）・重点項目・基本施策

中期経営計画（平成 28～30 年度）の運営の基本目標（ビジョン）を「サービス」「人材」「経営」の 3 つのキーワードで整理し、事業運営の指針として組織に浸透するよう、「親しみやすさ」と「覚えやすさ」に配慮し、次のとおりとしました。

1. 利用者の満足、家族の安心、地域の信頼を得る福祉サービスの提供
2. 人を大切にし、人を育て、人を活かす職場環境の確立
3. 透明性、安定性、効率性を追求した経営マネジメントの実践

III. 今年度の重点活動方針

平成 28 年度～平成 30 年度中期経営計画で示した「重点項目・基本施策」の具体的取り組みとして、今年度の重点活動方針を次のとおりとします

1. サービスの質の向上
 - (1) 職員の接遇、支援技術の向上
2. 利用者の安全・安心の確保
 - (1) 危機管理（リスクマネジメント）の強化
3. 地域交流、家族会・関係機関・団体との連携
 - (1) 地域行事への参加
 - (2) 家族会との連携
 - (3) 関係機関・団体との連携
4. 職員の確保と定着
 - (1) 働きがいを感じられる職場づくり
5. 人材育成の強化
 - (1) 職員研修の充実
6. 経営マネジメント力の向上
 - (1) 法人制度改革への対応
 - (2) 地域における公益的取り組みの推進と新たな福祉サービスの開発
7. 業務の合理化
 - (1) 支援入力システムの見直し
 - (2) 事務業務の見直し

IV. 本部計画

1. 理事会・評議員会・監事監査会 開催予定

開催内容	開催日	主な議案等
監事監査会	5月19日	・平成27年度 監事監査実施
評議員会・理事会	5月26日	・平成27年度事業報告、決算報告、監事監査報告
評議員会・理事会	10月26日	・平成28年度事業中間報告、経理状況報告 (※1) 任期満了に伴う評議員および理事・監事の改選について
理事会	11月13日	(※2) 新理事長選任、定款第10条第1項および第2項職務代理者の指名・選任
評議員会・理事会	3月23日	・補正予算案審議 ・次年度事業計画案および予算案審議

上記の他、以下の審議のため評議員会・理事会を開催します。(時期未定)

①新事業および施設整備についての審議

②社会福祉法人制度改正案成立後、新社会福祉法人制度への移行に伴う審議

定款変更、評議員会選考委員会の設置、評議員選定、新役員の選定等が考えられますが、詳細は未定。また、(※1) (※2)の審議が変更となる場合があります。

2. 会議開催予定

事業推進会議	4月、5月、7月、10月、1月、2月、3月
委員会全体会議	4月、10月、1月
第三者評価ガイドラインの自己評価会議	11月

3. 施設整備計画

グループホーム棟改修（屋根・壁）・ストーブの買替え	6～10月
農場トイレ、作業場の整備	5～6月頃
(新規) 多機能型生活介護事業の設置検討	4月～
B型事業所既存建物の増改築	年度内完成
加工場の新築・移転	年度内着工
加工品配達用車両（軽バン）の更新【日本財団申請】	6月頃申請
(新規) 生活困窮者就労訓練事業の設置検討	4月～

4. 職員配置計画

グループホームの世話人1名が退職となり、4月から新たに1名を採用します。4月1日時点での全体の職員配置数に変更はありません。

なお、新規事業の立ち上げに伴い、年度内に生活介護事業に2名、生活困窮者就労訓練事業に1名の採用を計画している他、平成29年度から相談支援事業所に配置する相談支援専門員1名の採用を計画しています。また、利用者の増加状況により調理員および送迎担当者の配置数を検討します。

5. 職員の給与の適正化

給与決定については、給与規程に基づき、経験や資格、地域・他事業所の状況、財務状況等を総合的に勘案し行います。昇給・賞与の決定については、人事評価制度に基づき行いますが、キャリアアップ制度の仕組みについて今後も検討を続け、精度を上げて行きます。

6. 人材育成と職場環境づくり

職場内研修の計画的な開催、個別研修計画の推進、目標管理制度による取り組みの推進により人材育成を進めていきます。また、キャリアパス制度の充実化のため職務職能基準表の策定や職員の定着化に向けた具体的な取り組みのための検討と計画策定を進めます。

7. 業務の合理化

業務を更に効率化していくため、支援入力システムの検討を行います。また、本部事務業務においても、各種システムの導入等を検討し、合理化を図ります。

V. 事業所計画

1. 共同生活ホーム 移山寮（共同生活援助）

(1) 基本方針

利用者一人ひとりが安定した生活を送ることのできる場所づくり及び日常生活に必要な活動の適切な支援を行います。

(2) 年度目標

- ① 利用者本位の視点に立ったサービスを提供します
- ② ニーズに即した支援を計画的に行います
- ③ 地域活動に積極的に参加し、地域との連携を図ります
- ④ 安全と健康を大切にした支援と環境の確保に努めます

(3) 重点活動方針

- ① 職員の接遇、支援技術の向上
- ② 既存建物の改修計画策定、改修着手
- ③ 危機管理（リスクマネジメント）の強化

(4) 利用者の利用状況

定員	利用者数	平均年齢	性別	障害支援区分の内訳
5名	5名	43歳	男5	【判定なし】5名

※日中活動先：就労継続B型5名（うち1名は一般就労予定あり）

(5) 職員体制（配置基準5：1）

※昨年度平均利用者見込数5.0人/日

管理者	1名	常勤専従
サービス管理責任者	1名	常勤・B型管理者と兼務
世話人	2名	非常勤（常勤換算後1.0）

(6) サービス提供時間

<週40時間>

	月	火	水	木	金	土	日
朝	5:30～8:00 (2.5時間)	5:30～7:30 (2時間)	5:30～8:00 (2.5時間)	5:30～7:30 (2時間)	5:30～8:00 (2.5時間)	5:30～9:00 (3.5時間)	6:00～8:00 (2時間)
夕	16:00～19:00 (3時間)					15:00～19:00 (4時間)	

(7) 世話人の業務内容

朝	<ul style="list-style-type: none">● 朝食準備● 食事の確認・心身状態確認● 共用部分の掃除確認● 食事片づけ・火元の確認● 日誌、サービス提供記録	夕	<ul style="list-style-type: none">● 食材等の購入● 夕食準備● 家事的援助、声掛け（洗濯・入浴・整理整頓）● 食事の確認・心身状態確認● 日中活動状況の聞き取り● 日誌、サービス提供記録● 食事片づけ・火元の確認
土日	私物管理、居室の掃除、整理整頓は利用者が各自行い、世話人はその状況を確認し必要に応じて援助する		

※共用部分（玄関・トイレ・洗面所・廊下・浴室）の掃除とゴミ捨ては入居者が当番で行う。

(8) 協力医療機関

内科	医療法人菁菜軒 田中医院 院長 田中 美彦 五戸町字鍛冶屋窪上ミ 3 3 - 2 電話：0178-61-1155
----	---

(9) 健康管理

健康診断を年 1 回行います（5 月）。毎朝健康観察を行い異常の早期発見に努めます。

(10) 安全管理、消防訓練

火災予防に努め、有事の際に適切な行動ができるよう消防訓練を行います。利用者には日頃から共同生活の認識を持ち、互いにルールを守り、協力し合うことを意識づけることで、防災意識の向上と緊急時の協力体制の強化に努めます。

火気点検	出勤時：利用者・世話人 就寝時：利用者
訓練（通報・避難・消火）の実施	6 月、10 月
生活安全・確認留意事項の周知	随時

(11) 夜間防災体制

職員が不在となる夜間及び深夜の時間帯については、利用者の緊急事態等に対応できるよう警備会社と契約し、連絡体制・支援体制を確保します。

警備会社	青森総合警備保障株式会社
------	--------------

(12) 会議開催計画

職員会議	奇数月
事業評価会議	10月、1月
個別支援計画作成会議、モニタリング会議、ケース会議	随時

(13) 主な年間行事

入居者会議	4月、9月、1月、3月
入居者健康診断（検診センター）	5月（B型と合同で実施）
自治会の環境整備（ゴミ0運動、草取り）	5月、6月
自治会のリサイクル活動	毎月1回
消防訓練	7月、11月
入居者誕生会	6月、8月、1月、3月
移山寮望年会	12月

2. 就労継続支援B型事業所 移山寮（指定就労継続支援B型）

(1) 事業所理念

自分の可能性や働く楽しさを見つけ、仕事をしながら自分の人生を主体的に生きて行くための支援を行います。

(2) 事業所ビジョン

エンパワメントの視点を重視し、利用者個々の「強み」を生かし、利用者が中心となり生き生きと働くことのできる環境を整えます。

平成 29 年度までに売上 1,285 万円を達成し、平均利用者数 25 名に対し、平均工賃時給額 200 円を支払える生産活動を目指します。

※平成 27 年度に平均工賃時給目標額 200 円を達成する見込

(3) 支援方針

利用者個々の能力を生かした支援方法を取り入れながら、生産活動の開拓に努めます。

(4) 年度目標

- ① 利用者本位の視点に立ったサービスを提供します。
- ② 地域の業界・団体と連携して生産活動・就労支援の充実・拡大を図ります。
- ③ 計画に基づいて工賃向上に取り組みます。
- ④ 地域活動へ参加し、いろいろな人との交流を広げます。
- ⑤ 家族との連携を図ります。
- ⑥ 安全と健康を大切にした支援と環境の確保に努めます。

(5) 重点活動方針

- ① 職員の接遇、支援技術の向上
- ② 地域交流、家族会・関係機関・団体との連携
- ③ 工賃向上計画の推進
- ④ 多機能型生活介護事業の新設
- ⑤ 加工場の新築

(6) 利用者の状況（H28.4.1 見込）

定員	利用者数	平均年齢	障害種別	住居のある地域
20 名	30 名（男性 23、女性 7）	43 歳	知 22/身 2/精 6	五戸 25 名/他 5 名

※4 月からの新規利用者 2 名を含む。

(7) サービス提供時間

<平日>

時間	プログラム
8:45	ラジオ体操（又はストレッチ体操）
8:50	朝の会
9:00	作業(10:30～10:45 休憩)
12:00	昼食・休憩
13:00	作業
14:45	片付け・清掃
15:15	活動記録、帰りの会
15:30	終了

<5月～/土曜日>

時間	プログラム
8:00	挨拶、作業～片付け
11:30	活動記録、終了

- 前年度まで、土曜日の主な作業は農作業でしたが、今年度からは段階的に加工業務も行っていきます。
- 日・祝日等でも、販売依頼等に対応するため開所することもあります。

(8) 職員体制

管理者	1名	常勤・GHサビ管と兼務
サービス管理責任者	1名	常勤
職業指導員	6名	常勤1名、非常勤5名（常勤換算後3.2）
生活支援員	2名	常勤1名、非常勤1名（常勤換算後0.7）
目標工賃達成指導員	1名	常勤
調理員	1名	非常勤（常勤換算後0.6）
送迎担当者	2名	非常勤（常勤換算後0.4～0.6）
事務員（本部業務兼務）	1名	常勤
農業管理指導者	1名	農事組合法人 くらいし へ委託

(9) 協力医療機関

内科	医療法人 菁菜軒 田中医院 院長 田中 美彦 五戸町字鍛冶屋窪上ミ 33-2 電話：61-1155
----	--

(10) 生産活動について

利用者の適性や希望を考慮し、ニーズに即した生産活動の提供および工賃を支給します。また、日々の生産活動を通して、就労技術や能力、体力や意欲の維持・向上を図るとともに、社会的ルールやマナーの習得を支援します。

① 生産品目について

加工、農業、受託、手芸の4種類の生産活動を実施します。

区分	主な販売品、内容等	売上目標
加工	菓子、もち、惣菜	730万円
農業	野菜、薪、農産物加工品、野菜BOX	280万円
受託	農産物梱包作業、掃除・運搬作業、草取、雪片付け等 ※施設外支援含む	200万円
手芸	編み物、裂織、古布小物、衣服	35万円
合 計		1,245万円

※受託には、施設外支援を含みます。

② 販売計画

日々の販売は、主に直売所や地元商店、個人消費者へ販売します。

外販活動やイベントでの出店、野菜BOXや彼岸だんご等の販売も継続して行います。

チラシやホームページによる生産活動情報の発信、遠方発送、新たな販路拡大にも取り組みます。

<外販活動>

五戸町社会福祉協議会	毎週水曜日 ※但しBOX 発送期間は除く。
五戸総合病院（まちカフェ出店）	月1回
ケアステーション浄信館（八戸市）	月2回

<主な企画販売・イベント出店等>

自主企画	五戸ぎゅぎゅっとお楽しみBOX（年2回）販売 アピル五戸合同企画・かぼちゃプリン販売 彼岸だんごの販売、正月用のもち販売
イベント出店	五戸町商工会ビックリ夜店、 五戸町社協福祉バザー、五戸町社協福祉ほのぼの交流まつり出店 新郷村福祉大会出店、他事業所開催のイベントへの出店

③ 工賃向上の重点的な取り組み

全体	<ul style="list-style-type: none"> ・工賃配分方法の点検・見直し ・利用者の力を生かす環境作り・支援の強化 ・事務業務省力化に向けた受注管理システム導入の検討着手 ・チラシ配付、HP 掲載等による計画的な情報発信（継続）
加工	<ul style="list-style-type: none"> ・加工場の新築 ・ギフト向けパッケージの商品化（継続）
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・味噌の販売計画 ・農作業の機械化・省力化の推進 ・規格外農産物の活用検討
受託	<ul style="list-style-type: none"> ・施設外支援の強化（継続）
手芸	<ul style="list-style-type: none"> ・売れ筋商品の製作 ・イベントでの販売 ・収益性は低くても、他の事業での作業が難しい利用者の受け皿としての役割を担う

<H27～29 年度の売上目標額・目標工賃額について>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
売上目標額	11,950,000 円	12,450,000 円	12,850,000 円
平均工賃時給額	190 円	195 円	200 円
平均工賃月額	16,714 円	17,154 円	17,594 円
平均支給総額	5,014,285 円	5,146,240 円	5,278,194 円
利用者延数	300 人 (25 人×12 ヶ月)	300 人 (25 人×12 ヶ月)	300 人 (25 人×12 ヶ月)

(11) 就労支援

① 社会的マナー向上の推進

就労に必要な社会的マナー等の習得のための取り組みを行います。

② 職場実習・施設外就労・施設外支援の推進

職場実習や施設外支援の受け入れ先の開拓に取り組み、個別支援計画に基づいて職場実習・施設外支援希望者を積極的に支援します。

③ ハローワーク、就業・生活支援センターの活用・連携

能力が高まった利用者の中で、一般就労を希望する利用者に対して、ハローワークや就業・生活支援センター等と連携しながら、一般就労に向けた支援を行います。

(12) 生活支援について

<日常生活支援>

衛生保持、整容、住環境美化、服薬等に関する支援を行います。

<健康管理>

健康診断や日々の測定による、異常の早期発見と生活習慣病予防対策の促進を行います。

健康観察	毎日
健康測定	体温・血圧・体重・体脂肪（2か月毎）
健康診断	利用者健康診断（五戸町健診センター：5月） 協力医による定期診察（田中医院：7月、2月）
健康づくり	朝のラジオ体操、ストレッチ体操の実施（毎日） 昼食後のストレッチの実施（毎週金曜日）
熱中症・食中毒予防	熱中症、食中毒に対する予防啓発（6月）
感染症対策	インフルエンザ、ノロウイルスに対する予防啓発（11月） インフルエンザ予防接種（希望者のみ、11月）

(13) 給食提供サービス

移山寮の野菜等を使用し、季節感のある温かい給食を1食200円で提供します。また、アンケートを年3回行い、利用者の嗜好に配慮した献立を検討します。

(14) 無償送迎サービス

自主通所が難しい利用者の無償送迎を行います。町内、新郷、倉石、十和田地区に加え、今年度からは、蛭川地区、八戸市豊崎地区へも対応します。

(15) 利用者会議

利用者同士が理解・協力し合い、必要な意見を出し合う場として、年4回開催します。

(16) 家族会との連携、レクリエーション活動

家族会・育成会の行事への参加等を通じて、ご家族や他事業所との交流を図ります。また、家族会総会に合わせて事業所説明会を開催し、利用者・ご家族にご理解をいただく機会を設けます。

家族会開催行事	家族会総会・事業所説明会、家族会バス旅行
育成会・地域行事	三戸郡手をつなぐ育成会愛の輪レクリエーション ふれあいフェスティバル
利用者自主活動	買い物

(17) 安全管理、消防訓練

火災予防に努め、有事の際に適切な行動ができるよう消防訓練を行います。

火気点検（作業終了時、退勤時）	全職員
訓練（通報・避難・消火）の実施	6月、10月 ※相談支援事業も一緒に参加

(18) 情報発信

利用者、家族、職員が移山寮の計画や状況を共有できるよう「なかま通信」を毎月発行するとともに、事業所運営に関する情報公開に努めます。

(19) 会議開催計画

月次職員会議	毎月
事業評価会議	10月、1月
個別支援計画作成会議、モニタリング会議、ケース会議	随時
工賃能力評価会議	基本/年4回

(20) 主な年間行事

月	事業所行事	交流行事
4月	・家族会総会、事業所説明会	
5月	・交通安全教室、環境美化奉仕活動 ・利用者健康診断	・民生児童委員来所（種まき）
6月	・消防訓練①（部分、基礎訓練） ・バス旅行（家族会）	・グリーン・ツーリズム玉ねぎ収穫体験
7月	・利用者会議① ・協力医定期診察① ・利用者自主活動（買い物）	
8月	・三戸郡手をつなぐ育成会レクリエーション参加 ・五戸まつり見学 ・大掃除	・10年次研修
9月	・利用者会議②	・五戸高、川内中来所 ・民生児童委員来所（収穫） ・グリーン・ツーリズムしその実取り体験
10月	・消防訓練②（総合） ・移山寮収穫祭	・切谷内小来所
11月	・インフルエンザ予防接種 ・利用者会議③	
12月	・望年会 ・大掃除	
1月	・五戸町福祉大会見学 ・利用者学習会①	
2月	・ふれあいフェスティバル参加（五戸町地域生活推進協議会） ・協力医定期診察② ・利用者会議④	
3月	・利用者学習会②	

3. 相談支援事業所 移山寮（指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業）

(1) 事業の概要

相談支援事業所 移山寮は障害福祉サービスを利用する希望者に総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し作成します。

これによってどんな重いハンデがあっても、地域社会の中で「豊かに安心して自分らしい生活」が送れるようにすることを目的に次の事業を行います。

障害者総合支援法に基づき、相談支援事業所 移山寮は障害福祉サービス等の利用に向けた「サービス等利用計画（案）」の作成を行います。

また、障害福祉サービス等利用後に、定期的にモニタリング等を実施し、適切なサービス利用に向けた調整等を行います。

児童福祉法に基づき、相談支援事業所 移山寮は障害福祉サービス等の利用に向けた「障害児支援利用計画（案）」の作成を行います。また、障害福祉サービス等利用後に、定期的にモニタリング等を実施し、適切なサービス利用に向けた調整等を行います。

(2) 基本方針

次の事項を基本方針とします。

- ① 利用者または障害児の保護者の意志及び人格を尊重し、常に利用者等の立場に立って行います。
- ② 利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるように配慮して行います。
- ③ 利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者等の選択等に基づき適切な保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスが多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行います。
- ④ 利用者等に提供される福祉サービス等が特定の種類または特定の障害福祉サービス事業を行うものに不当に偏ることの無いように、公正中立に行います。
- ⑤ 市町村、障害福祉サービス事業を行う者等との連携を図り、地域において必要な社会資源の改善及び開発に努めます。
- ⑥ 提供する相談支援計画の評価を行い、常にその改善を図ります。
- ⑦ 管理者、相談支援専門員等は正当な理由がなく、その業務上知り得た利用者またはその家族の秘密を保持し漏らすことがあってはならない。また、個人情報を用いる場合はあらかじめ文書により当該利用者または家族の同意を得て行います。

(3) 指定計画相談支援及び指定障害児相談支援の提供方法及び内容

事業所で行う指定計画相談支援及び指定障害児相談支援の提供方法及び内容は、次の通りとします。

- ① 基本相談支援
- ② 地域の障害福祉サービス事業者及び障害児通所支援事業者等の情報提供
- ③ 訪問によるアセスメント
- ④ サービス等利用計画案・サービス等利用計画及び障害児支援利用計画案及び障害児支援利用計画の作成
- ⑤ サービス担当者会議の開催等による専門的な意見の聴取
- ⑥ 訪問によるモニタリング
- ⑦ 前各号に掲げる相談支援等に附帯する便宜

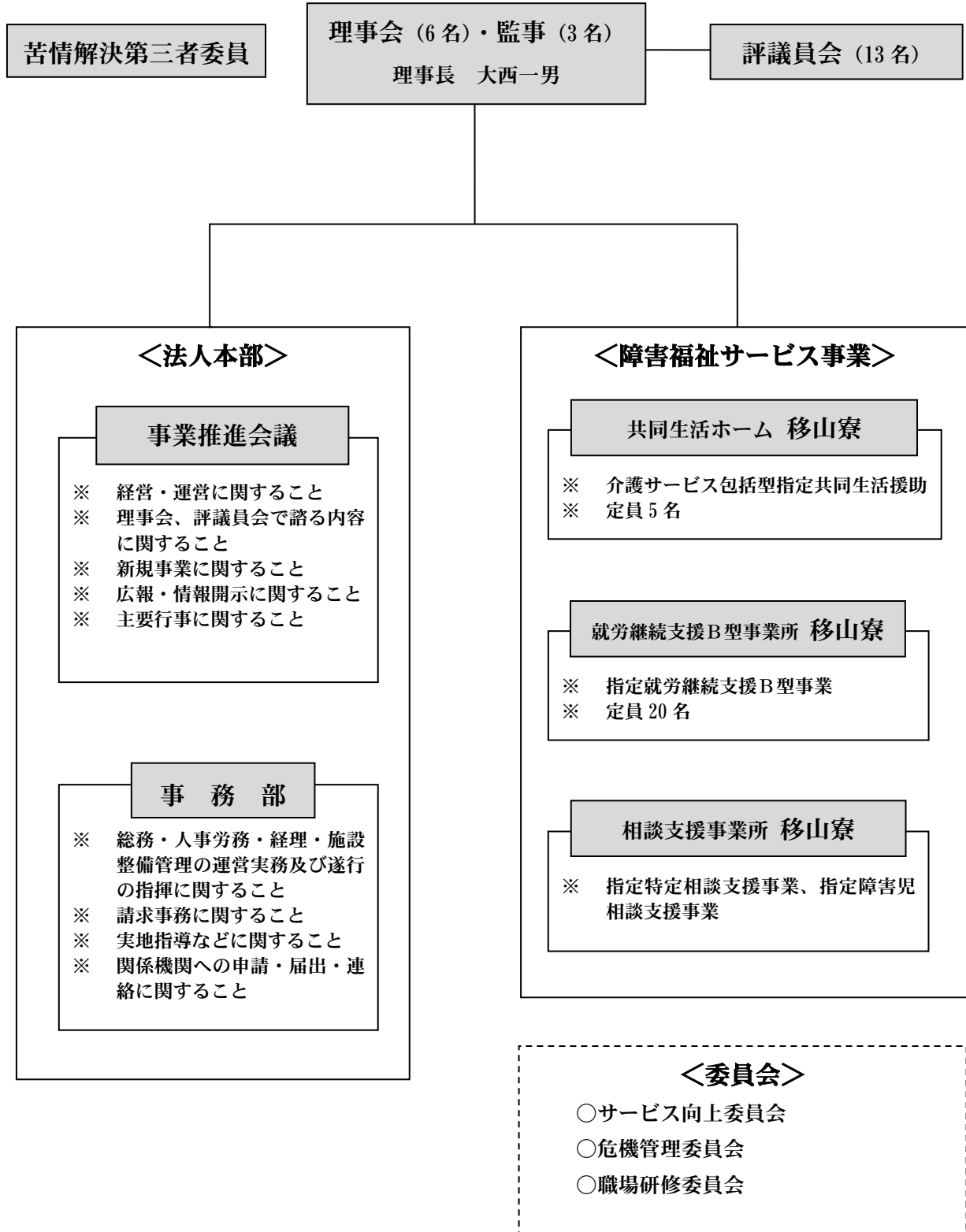
(4) 通常の事業の実施地域

五戸町、三戸郡全域、八戸市、十和田市、三沢市、七戸町、六戸町、おいらせ町とします

(5) 職員体制

管理者・相談支援専門員	1名	常勤
-------------	----	----

社会福祉法人 生活・文化研究所 組織図



実施事業

<第二種社会福祉事業>

- 共同生活ホーム移山寮（事業所番号：0221200025）
サービス種類：介護サービス包括型指定共同生活援助
適用年月日：平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日
定 員：5 名

- 就労継続支援 B 型事業所移山寮（事業所番号：0211200043）
サービス種類：指定就労継続支援 B 型
適用年月日：平成 27 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日
定 員：20 名

- 相談支援事業所 移山寮（事業所番号：0231200056（者）／0271200065（児））
サービス種類：指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業
適用年月日：平成 26 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日

役員・評議員

<役 員> 【定員】理事 6 名、監事 3 名 【現員】理事 6 名、監事 3 名
【任期】平成 26 年 11 月 13 日～平成 28 年 11 月 12 日
（理事長）大西一男
（理 事）大西祐子、村越郁哉、戸舘真里子、江渡まき、日向端潔
（監 事）三浦啓子、山部篤志、菊池瑞穂

<評議員> 【定員】13 名／【現員】13 名
【任期】平成 26 年 10 月 23 日～平成 28 年 10 月 22 日
赤坂静、林つる、原サメ、藤田ナツ子、米田喜一、三浦京子、三浦静雄、
山崎純子、戸舘真里子、向山恭子、金澤宏昭、佐々木正志、三浦とし子

職 員

区分	職名	職員氏名	常勤・非常勤の別
GH	管理者	大西 一男	常勤
	サービス管理責任者	大西 祐子	常勤 ※B型管理者と兼務
	世話人	向山 りつ	非常勤
	世話人	佐々木 栄子(新)	非常勤
B型	管理者	大西 祐子	常勤 ※GHサビ管と兼務
	サービス管理責任者	工藤 加代子	常勤
	職業指導員	赤坂 文生	常勤
	職業指導員	高橋 純子	非常勤
	職業指導員	藤村 栄子	非常勤
	職業指導員	豊川 礼子	非常勤
	職業指導員	越後 文雄	非常勤
	職業指導員	田茂 伊代	非常勤 ※一部事務業務も行う
	生活支援員	沼沢 剛	常勤
	生活支援員	江渡 まき	非常勤
	目標工賃達成指導員	大西 恵子	常勤
	調理員	櫻井 美子	非常勤
	送迎担当者	木村 秀男	非常勤
	送迎担当者	鈴木 修一	非常勤
事務員(本部業務兼務)	小泉 文乃	常勤	
相談	管理者・相談支援専門員	三浦 とし子	常勤

常勤 8 名、非常勤 11 名 計 19 名

倫理綱領

障害のある人たちが、人間としての尊厳が守られ、豊かな人生を自己実現できるように支援することが、私たちの責務です。そのため、私たちは支援者のひとりとして、確固たる倫理観をもって、その専門的役割を自覚し、自らの使命を果たさなければなりません。

ここに倫理綱領を定め、私たちの規範とします。

1. 生命の尊厳

私たちは、障害のある人たちの一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。

2. 個人の尊厳

私たちは、障害のある人たちの、ひとりの人間としての個性、主体性、可能性を尊びます。

3. 人権の擁護

私たちは、障害のある人たちに対する、いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、人としての権利を擁護します。

4. 社会への参加

私たちは、障害のある人たちが、年齢、障害の状態などにかかわらず、社会を構成する一員としての社会生活が送れるよう支援します。

5. 専門的な支援

私たちは、自らの専門的役割と使命を自覚し、絶えず研鑽を重ね、障害のある人たちの一人ひとりが豊かな生活を実感し、充実した人生が送れるよう支援し続けます。

職員行動指針

職員一人ひとりが組織の一員として、自らの行動に責任と自覚を確立するため、職員行動の指針を定め、法人内外に示します。すべての職員は、この行動の指針の遵守に努めることとし、殊に管理・監督する立場にある者は、自らが模範となるよう率先して実行に努めます。

1. 社会的ルールの遵守（コンプライアンス）の徹底

社会福祉法人生活・文化研究所は、関係法令、法人の定めた諸規程はもとより、法人の理念や社会的ルールの遵守を徹底します。

2. 環境保全・安全衛生の推進

社会福祉法人生活・文化研究所は、地球的規模の環境破壊が進む中で、その抑止に日ごろから関心を持ち、取り組みます。

利用者や地域の方と共に職場及び地域の環境保全と安全衛生に積極的に取り組みます。

3. 社会貢献の推進

社会福祉法人生活・文化研究所は、地域や社会に根ざした社会福祉法人であるために、社会貢献活動を行います。

4. 人権の尊重

社会福祉法人生活・文化研究所は、差別のない公平な法人であるために、互いの個性や違いを積極的に認め合い一人ひとりが平等であるという考えの下に行動します。

5. プライバシーの保護

社会福祉法人生活・文化研究所は、プライバシーの保護に最大限の努力をします。

6. 個人情報の保護と管理

社会福祉法人生活・文化研究所は、個人情報保護法等に基づき、個人情報の適正な取扱いを行います。

7. 公正・公平な取引の推進

社会福祉法人生活・文化研究所は、公正且つ公平で健全な取引を行います。

8. 行政機関等との関係

社会福祉法人生活・文化研究所は、自立した社会福祉法人として行政機関と対等且つ健全な関係を保持します。

9. 説明責任（アカウンタビリティ）の徹底

社会福祉法人生活・文化研究所は、利用者やその家族・後見人等に提供するサービスや関連する情報について、適切に説明する努力や工夫を行います。また地域の理解と信頼を高めるために地域とのコミュニケーションを図ると共に、適切な情報開示、情報提供に努め、説明責任を果たします。

10. 危機管理（リスクマネジメント）の徹底

社会福祉法人生活・文化研究所は、常に安全性に配慮したサービスの提供と事故防止に努めます。

法人内委員会

委員会名	取り組み内容
サービス向上委員会	サービスの質の向上・権利擁護に関すること
危機管理委員会	リスクアセスメント活動、ヒヤリハット報告制度、緊急時対応に関すること
職場研修委員会	職員研修に関すること

苦情解決体制

利用者や家族の苦情等への迅速・適切な対応を行うために設置します。投書箱の設置や第三者委員による定期訪問・相談日を設け、意見の収集と解決に努めます。

運営主体	サービス向上委員会
苦情解決体制	苦情解決責任者：大西 祐子 苦情受付担当者：工藤加代子
第三者委員	佐々木 正志・川村 テル
定期訪問・相談日	6月、8月、2月

虐待防止管理体制

事業所内での虐待防止のための取り組みを推進します。

運営推進	サービス向上委員会
虐待防止管理体制	虐待防止対応責任者：大西 祐子 虐待防止受付担当者：工藤加代子

業務管理体制

福祉サービス事業者等において、不祥事案の発生防止の観点から、事業運営の適正化を図るため、事業所職員の法令遵守を確保するための責任者を配置します。

法令遵守責任者	大西 祐子
---------	-------

安全衛生推進

職員の安全と健康の確保及び快適職場の形成の推進に努めます。業務の推進にあたっては、危機管理委員会と連携し行います。

安全衛生推進者	小泉 文乃
---------	-------

防火管理

防火管理者の下に各棟または一定区域毎に火元責任者を定め、火災予防に努めるとともに、避難訓練及び自衛消防組織を訓練することにより、有事の場合に役立つ組織作りを目指します。

(1) 予防管理組織

火元責任者は、日常の火気使用器具の火気管理・終業時の火気点検の実施、および毎月1回の建物・消防用設備の自主点検を行います。

防火管理者	大西 祐子
火元責任者	各エリアごとに割り当て

(2) 消防用設備の法定点検

消防用設備等の点検は以下の業者に委託し実施する。

5月 機器点検	11月 総合点検
委託先：青森ホーチキ株式会社 八戸営業所	

(3) 消防訓練

火災や地震等、各事業所で起こりうる状況を想定し避難等の訓練を行います。(詳細は各事業所計画に記載。)

6月 部分訓練	11月 総合訓練
---------	----------

(4) 自衛消防組織

火災その他の災害が発生した場合は、自衛消防隊を組織し任務にあたります。

係名	任務内容	隊員名
自衛消防隊長	自衛消防隊に対し、指揮・命令を行うとともに、消防署との連携をとる。避難状況の確認をとる	大西 (祐)
通報連絡班	消防機関へ通報する 事業所内の職員・利用者に連絡を行う	小泉、工藤
消火班	消火器等による初期消火を行う	沼沢、高橋、櫻井
避難誘導班	避難者の誘導を行う 逃げ遅れた者の確認を行う	大西 (恵)、赤坂、 江渡、藤村、田茂、

研修計画

<職場内研修>

月	研修名・研修内容等	対象
4月	職員全員研修（法人理念と事業計画の理解 等）	全員
未定	虐待防止研修	全員
未定	接遇研修	事業毎
年3回	エンパワメント支援研修	事業毎

<主な外部研修>

月	研修名・研修内容等	対象
4月	障害児・者福祉施設新任職員研修	新職員全員
6・1月	八戸地区グループホームケアホーム連絡協議会・研修会	GH
7月	衛生講習会	加工担当
未定	食の安全セミナー	給食担当
未定	人事労務管理制度研修会、キャリアパス制度に関する研修会	本部
未定	県障害者虐待防止・権利擁護研修会（管理者編、従事者編）	管理者等